

# 本一かわら版

令和5年12月号  
(第52号)  
発行：本所一丁目町会  
発行責任者：岩野全克  
編集：福原雅美  
竹内沙絵子

一年の終わりに

本所一丁目町会 町会長 鈴木 慎太郎

心せわしい年の暮れ、皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この一年も、町会活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。今年も旅行や牛嶋神社の大祭など、大きな行事があり、多くの町会員の皆様にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染拡大がおよその収束を迎え、人々が集い交わることのありがたさを実感してきました。

十二月十日(日)には、ビッグシップにてお餅つきが行われました。昨年からお餅つきは町会の主催となりました。十二月とは思えぬうらかな一日、外では育成部、青年会が子どもたちにお餅を搗かせ、商店会がポップコーンを振舞いました。ビッグシップの調理室では、天理教東本大教会さんから運ばれてくる搗き立てのお餅に、白寿会、女性部、育成部が次々とあんこや黄な粉、海苔、大根おろしを絡めたり、お雑煮に仕立てたりと、まさにオール本一町会が力を合わせて行事を盛り立てました。老若男女の来場者はイベントスペースでお餅をおいしくいただきました。来場者はおよそ三百二十名と昨年を超える大盛況でした。お手伝いの各会役員がおよそ八十名あまり、総勢四百名の行事となりました。

年内の行事もあとは、十二月二七日、二十八日、二十九日の町会の夜警を残すのみです。町内の安全を見守る警備ですが、辻々を巡る拍子木の音は歳末の風物でもあります。

また、年明けには、牛嶋神社への初詣、初地蔵、町会新年会と行事が目白押しです。来年も町会へのご協力ならびに行事へのご参加をお願いいたします。皆様、よいお年をお迎えください。



## 令和五年度 町会行事予定

### 歳末警戒

十二月二十七日(水)～二十九日(金)

午後八時より午後十時まで

場所 町内巡回夜警

### 新年初詣

令和六年一月三日(水)

午前十時 会館集合

場所 牛嶋神社

会館に集合してまとまって行きます。皆様と一緒に詣りましょう。



### 新年会

令和六年一月十四日(日)

午後五時より

場所 本所地域プラザ ビッグシップ

### 初地蔵供養

令和六年一月二十日(土)

午後二時より

場所 タンポポ公園

甘酒の接待があります。

### 節分会

令和六年二月三日(土)

午後六時より

場所 本所一丁目会館

本一睦会・育成部対象となります。



## 外手小学校地区防災拠点訓練に参加して

本所一丁目防災部 部長 安川 武志

十一月三日、東駒形一丁目、本所一丁目から三丁目町会の四町会が一堂に会し、外手小学校で防災拠点訓練を実施しました。

当日は当番(駒一)町会から各町会十名の要請があり、鈴木町会長を含む町の防災部員十名が参加しました。訓練の初めには、外手小学校の備蓄倉庫を見学。その後、資器材等の操作訓練が行われました。①簡易ベット、エアーマット、段ボールベットの組み立てから、②マンホール対応型トイレの組み立て、③発電機、投光器の操作まで幅広い項目が含まれました。また、Wi-Fi等の通信機器の扱いや、避難スペースの確認、非常用コンセントの自立操作スィッチの確認、さらにはマンホール対応型トイレの正しい使用方法まで、地域の安全を確保するための手順が一通り網羅されました。参加した四町会の協力により、防災における連携とスキル向上が実感された一日でした。



## 発足五十周年を向かえて

本志青年會十一代目会長 永森 岳人

去る令和五年十一月十一日、我々本志青年會は発足五十周年を向かえ、両国の第一ホテルにて発足記念パーティを執り行いました。パーティには八十名を超える本一町会の御関係者皆様にご出席いただき、賑やかで記憶に残る式とすることができました。ご出席いただいた皆様はもちろんのこと、お祝いのお言葉をいただいた方々にも改めてこの場で御礼を申し上げます。

発足五十周年を迎える中、残念ながらここ数年でお亡くなりになられた諸先輩方もおり、その中には弊會の二代目会長でもある高見澤義幸さんもいらっしゃいました。会の発展に多大な貢献いただきながら、コロナ禍で祭礼もなく、逢うこともままならない中でお別れとなった諸先輩たちに、今の活気ある会の姿を見せられなかったことが心残りです。

そうした中でも喜ばしいことはあり、ここ数年で所属する会員、特に親の代から本一にすみ続けている「第二世代」と呼ばれる会員が子供を授かることが多くありました。何を隠そう私もその一人です。三年もの間、開催できなかった祭礼に「第三世代」となる子供たちが楽しそうに参加している姿が戻ってきたことは、会にとってもこの上ない喜びです。

また、ありがたいことに、近年増えたマンションにお住まいの、町会外から越されてきた方々にも、青年會の活動に興味を持っていただき、新規に入会、活躍いただいています。こうした新しい住民の会員、また町会外の地域に住みながら、応援に駆けつけてくれる会員、そしてお祭りのときには個人の縁で青年會に協力してくださる他地域の方々が増えたことで、これまでになかったつながりが、また次の輪を描いて広がっていくことを感じています。

『組織』の素晴らしいところは、その功績が後の世に脈々と受け継がれていくことだと、私は幾度となく感じるがあります。弊會も、受け継がれてきた歴史と、移り変わっていく街の様子が入り交じる一つの器として、この先六十年、七十年・・百年と存続し、本一町会に留まらず、その輪を拡げながら、次の世代を担い・育て・託せる会となっていきたいと願っております。

町会住民の皆様には、益々のご支援・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いを申し上げます。



## 隅田川テラスの花壇に

秋・冬の花が植えられました

本所一丁目花守チーム一同

本所一丁目町会の事業である隅田川テラスの花壇への花植え事業は、東京都公園協会の事業に協力する形で行われています。町会では有志の方の協力を得て「本所一丁目花守チーム」を結成して、厩橋たもとの下流側花壇（長さ約三十メートルの花壇二か所）の管理に協力しています。現在は、この花守活動に四十名の方々に協力していただいております。

最近では、コロナ禍も落ち着きを取り戻し、以前の生活に戻りつつあります。花植え作業（十一月八日（水）午前）は晴天に恵まれ三十二名の方々の参加を得て四種類の花（ガーデンシクラメン、ストック、ビオラ、ユリオプスデージー）合計約千二百株を植えました。

今後は、水やり、花ガラ取り及び雑草の除去等を行う予定です。この事業の大きな目的は、隅田川の流域の快適性の確保と環境美化にあると思います。テラスを通る多くの方々が花を見て心がなごみ、気持ちよく活動でき更に地域に愛着を持っていただけるように、花の配置等を工夫してバランス良く定植してあります。

皆様がテラスを通行する際にはぜひご覧いただければ幸いです。



晴天に恵まれ、32名の方が参加されました。



皆さん協力して、きれいに定植しました。



ガーデンシクラメンとストックを植えました。



ビオラとユリオプスデージーを植えました。